

第12回米原市定例教育委員会

日 時：平成25年12月19日
午後3時30分開会
場 所：東部給食センター
2階研修室

(出席者)

教 育 委 員：稲村委員長 河居委員長職務代理者 堀田委員 小路委員
山本教育長

教 育 部 長：坪井部長

教 育 総 務 課：田中課長 山田課長補佐

学 校 教 育 課：岡田課長

生 涯 学 習 課：岩脇課長、大橋課長補佐

歴史文化財保護課：桂田課長

学 校 給 食 課：喜田課長

図 書 館：小北館長

健康福祉部 理 事：岩山理事

子 育 て 支 援 課：口分田課長補佐、須戸課長補佐

書 記：田中

1 開 会

2 委員長あいさつ

- 今年は瀬戸川教育長が退任され、5か月ほどブランクがあって山本教育長が就任されました。その間、教育部長をはじめ職員の方には御苦労いただいたと思います。これまでの路線を踏襲しながら山本教育長のカラーが増えつつあるのを我々委員としても喜んでいきます。
- 国の動き等を見ていると、教育委員会のあり方そのものを考えていかなければならない時期だと思えます。会議の進め方についても、いろいろと提案いただいて、かなり整理していただきました。各課の報告についても教育長からの報告だけでなく、出席されている課長からも一言ずついただくと良いのではないかと思います。教育委員もそれぞれの立場での経験を活かし積極的に発言していただき、同時に学校訪問等の機会に情報を仕入れていただきたい。当然ながら教育委員会との連携が一番大事ですので、皆さんとの連携の中で情報交換をしながら相談役として責務を果たしていきたいと思えます。
- 学校訪問や講演会がありましたが、3学期にぜひ内容をまとめてほしい。今年度のまとめについて、きちんと指導していただき、次年度に繋いでいただくと良いと思えます。

3 会議録承認

11月定例会議事録 承認

4 教育長報告

【12月定例会市議会・一般質問に関する報告】

- 小中学校の空調設備の計画、予算の財源について質問がありました。すでに計画は進めていますので、今年度に小学校の空調設備の設計業務、来年度に設備を整備し、引き続いて中学校の空調設備の設計・整備を計画しています。設備を電気にするか、ガスにするかは、今後コストを比較しながら精査すると答弁しました。
- 河南小学校の夏休みのプール利用に、息郷地域の児童のためにスクールバスを運行できないかとの質問がありました。夏休みのプール利用は、PTAが行っている事業なので、基本的にスクールバスの運行はできない。全市で統一した基準を検討する必要があると考えています。後ほど通学におけるスクールバス運行の課題と共に議論をお願いします。
- 下村祺世画伯の素晴らしい絵画が米原市にたくさんあるのに十分表に出されていない、管理はどうなっているのかという質問がありました。私も教育部長も伊吹の見える美術館、ルッチプラザに展示してある作品を実際に観に行きましたが、もっと市民に広めて欲しいという意見がありました。今後、ローテーションを組み合わせながら展示していきたいと思えますし、学校の空き教室に展示ができないかとの提案もあり、学校と協議しながら、市内の子ども達が訪問して鑑賞できるよう検討していきたいと考えています。
- 入江干拓資料館についても質問がありました。歴史講座の中にも取り入れています、学習スペースとして活用していくため、学校にも利用をお願いするつもりです。実際に校外学習に利用している学校もあります。ジオラマを作れないかとの提案もありましたが、今後協議をして、市民の力も取り入れながら出来ないかと考えています。
- 学校給食の残飯・残菜が1日100kgとのデータをもって、減らすことができないかと質問がありました。残飯・残菜の量は日によって変動しますが、給食センターと学校が連携を取って、減らすよう努力をしていきたいと答弁しました。また各学校での取組もお願いしたいと考えています。
- 学校教育については、いじめ問題に関する質問が2つありました。現状と課題について市の体制を問われました。学校教育課での取組と、市長部局との連携のもと、地域いじめ対策協議会というものも考えていく必要があると答弁しました。その中で、教育委員会の定例会では傍聴人がどれくらいおられるのかと質問がありましたが、私の就任以降、傍聴人はおられないが、会議のあり方を精査し議論の時間を多く取るようにしていると答えました。
- 学校統廃合についての質問もありました。前教育長の対応や保幼小中学校の統合整備計画はまだ生きているのかを問われ、現在進行形で検討している部分もあれば、計画通りに進んだところもあり、白紙に戻ったところもある。今後、教育委員会で再度整理して

いきたいと答弁しました。

- 総務教育常任委員会では、学力の問題について、学校別の結果の公表はどうするのかとの質問が出ました。私は基本的に公表すべきではないと考えています。子ども達に自分の学校に誇りを持って欲しい。学力は学校の平均値でどうこう言う問題ではない。この件については、後ほど皆さんと議論をしたいと思っています。
- 図書館については、特に質問が出ませんでした。「本との出会いは宝物」というテーマで平成 26 年 1 月 25 日開催の米原市学校支援地域本部事業成果報告会に向けて準備をしています。

【学校教育課から報告】

- 本日、滋賀県から体罰に関する記者発表がありました。中学校の教諭が体罰をして処分を受けています。バスケットボール部の顧問をしていた時にボールを生徒の顔に当てた、暴言があったとのこと。幸いなことに米原市は体罰の事案はあがっておりませんが、これを機会にもう一度気を引き締めなくてはならないと考えています。

委員：公共施設の再編計画が出されたと思いますが、教育委員会所管の施設についてはどのように取り組んでいかれるのか。

事務局：再編計画については、かなり前から議論されてきました。議員も含め外部目線での検討、担当側から現状のわかる資料を提出し、方針を示させていただいたところです。施設を利用する市民や指定管理をする団体がありますので、必ずしもその形になるというものではありませんが、具体的な事例としては、社会教育法に基づく公民館として運営するよりは、コミュニティセンターとして市民がより利用しやすい方向に切り替える。事前調整が整った施設から取組を始められればと考えています。

委員：小学校の児童の暴力について、保護者が大変困っておられるそうですが。

事務局：11 月分の問題行動報告にもありますが、ケース会議において、学校だけでなく子ども家庭支援センターや児童相談所の方に来ていただき、将来のことも含めて対応を考えています。

委員：どのように見守っていくかですね。

事務局：小学校で組織対応を行っていますが、最近やや落ち着いてきたようです。

事務局：母親を支えないといけないと思います。

委員：担任の先生を蹴ったとのことですが、先生の怪我はなかったのですか。学級の様子はどうですか。

事務局：止めに入った時に蹴られたそうですが、怪我はありません。他の子ども達に出来るだけ影響が出ないように指導をしているところです。

5 議案審議

議案第65号 (仮称)米原市かなん認定こども園の園歌の歌詞について 【教育総務課】

事務局：対象が園児なので、漢字表記を仮名表記にしています。山東幼稚園は歌詞を漢字表記していますが、それ以外の園歌は仮名表記の歌詞になっています。

委員：「あおいやま」とはどここの山ですか。

事務局：原文の「伊吹山」です。位置的には伊吹山より霊仙山の方が近いという話もありました。季節によって山のイメージは変わりますが、新緑のイメージがあると思います。醒井幼稚園の園歌にも「あおいおやま」という歌詞があります。

委員：一番の歌詞「一、二、三、四」と二番の歌詞「ワン、ツー、スリー、フォー」は日本語表記と英語表記で統一されていませんが。

事務局：選考委員の中では、二番の歌詞も「一、二、三、四」にするという意見もありました。

事務局：最終的には原文を生かしてということになりました。

委員：最近、運動会でも子どもが「ワン、ツー、スリー、フォー」と言っています。むしろ英語の方がやりやすいのかも知れません。

事務局：漢字や平仮名より「ワン、ツー、スリー、フォー」の英語の歌詞にしようという意見もありました。

議案承認

議案第66号 後援等名義使用承認（後援）について

○全国障害者問題研究会第48回全国大会 【学校教育課】

○黒田官兵衛博覧会 ～ながはまの官兵衛見参！！～ 【歴史文化財保護課】

委員：米原市でも黒田官兵衛に関しての話はありませんか。

事務局：長浜市の黒田官兵衛博覧会に米原市が関わるという具体的な情報は商工観光課からは入っていません。博覧会に来られるお客さんに米原市にも来ていただくよう動き始めたいと考えています。地元の方の意識が木之本の黒田とは若干温度差があるように感じます。

後援承認

6 協議事項

(1) スクールバスについて

【教育総務課】

委員：距離だけでなく安全面での問題がありますが、一定の基準が欲しいですね。今の子どもは歩く機会が少ないので、体力をつけるために歩くことも大事だという考え方もあります。

事務局：集落の間の距離が長く人家がない地域では防犯面を考えると柔軟な対応が必要だと思います。子どもに歩かせるということも大事にしなくてはなりません。今の保護者にはなかなか理解が得られません。通学距離についてもどこを基準にして測るかが問題です。字の中心からの距離なのか、バス停を基準にするのか。同じ字の中でも入口から奥地までの距離が1.5 kmという所もある。まず通学距離を測る基準を決めて、通学距離が2 km以上の地域や人家が少ない地域を通る場合を考慮してバスの基準を決めるべきだと思います。集落までかなりの距離があり、人家のない所を低学年の児童だけで帰っていることを考えると菅江の保護者の意見も分かります。

委員：菅江の児童が4～5人で田んぼの中を歩いているのを見かけました。夏場は良いのですが、冬の薄暗い時は心配です。

事務局：菅江のスクールガードは北方の字の入口まで送っています。そこまで行けば人家があります。

委員：地域の支援がないと少し難しいですね。

委員：ボランティアの協力が一つの方策ではありますね。

事務局：菅江の場合、低学年だけで帰る時は人数が2人くらいになってしまうそうです。

事務局：菅江は全学年で6人です。低学年だけの下校があるので、保護者が心配されています。

委員：山東小学校には放課後児童クラブに行っている子もいますね。

事務局：スクールバスについては、教育委員会でいろんな意見をいただいて方針を検討すべきだと考えています。

事務局：委員の皆さんにはそれぞれの立場で検討していただき、可能なら現場の様子も見ていただきたい。

(2) 米原市スポーツ推進計画について

【生涯学習課】

委員：クラブチームはこの計画の中でどのような位置づけになりますか。

事務局：体育協会の中に小学校体育連盟・中学校体育連盟が入っています。この部分で連携をしていくことになります。中学校の部活においても競技専門の教師がおられない状況ですので、その部分をスポーツクラブなり、他の関係団体で競技をされている方が指導できないか模索していきます。今は、スキーの指導を学校の教師がするのは難しいので、スキー連盟のほうから講師を派遣しています。

委員：先日の会議で小学校1年生からスポ少に入っているのを知って驚いた。参加できる学年が以前は小学校4年生からだった。今は、ほとんど1年生から参加なので大丈夫なのかと思う。

事務局：全国大会で出場権があるのは小学校4年生以上ですが、実際のスポ少のクラブ員としての登録は小学校1年生からが多いです。

事務局：総合型地域スポーツクラブとどのような兼ね合いにするかがポイントです。小学校1～2年までは総合型地域スポーツクラブで総合的な運動を楽しんでベースを作り、その後、専門的にどの競技のスポ少を選ぶか選択肢とする。

委員：体ができていない子が激しい運動をしてしまうのは危ないと思います。

事務局：バランスの良い体を作ってあげる方が良いと思います。スポ少では学年が上がると負担が大きいのので辞めていくという話も聞きます。これからはスポ少のあり方も大事だと思います。

委員：スポ少の競技メニューは豊富ですが、中学校の部活動では限られてきます。その辺の部分で総合型地域スポーツクラブで出来ないかと思います。

事務局：スポーツクラブ自身も過渡期に来ています。例えばホッケーは山東と伊吹だけです。山東の場合、大東中学校にはホッケー部がないので、学校では陸上部に入りますが、滋賀県のジュニアホッケーの団体に来てもらって、6月頃から彦根、大東中、伊吹山中の生徒を寄せて合同練習をして、11月開催の大会に出場するための組織を立ち上げていただいています。他の競技でもそのような組織が必要です。特にバスケット部がほとんどなくなってきました。高校を巻き込んで活動を支援していくことが今後の課題です。

事務局：中学校は部活動オンリーという考え方から社会体育での活動を視野に入れた考え方に変えていかなければならない。生徒数の減少や顧問の専門性がなくなる等、いろんな問題があります。

委員：米原市に東京オリンピックの選手の練習会場を誘致できないでしょうか。

事務局：これからの話になりますが、ホッケーについては専用グラウンドがあり、オリンピック仕様のコートになっています。先日、長浜市から練習会場を米原市にして、宿泊施設は長浜市にという話がありました。実際、滋賀国体ではホッケーの会場を米原市で受けざるを得ないと思います。国体の場合、コートを2面使用しますが、現在は1面しかないので施設整備も同時にやる必要があります。東京まで2時間半で行けますし、全国で人工芝のコートを持っている所は数が限られますので、手を挙げれば進められるのではないかと思います。

委員：トップアスリートの姿を子ども達に見せてあげれば良い刺激になると思います。

委員：スポーツの発信拠点機関とは。

事務局：各スポーツ団体へのアンケートや審議会の中で、行政にスポーツに特化した職員がないので、指導者の育成も含め、講習会等を開催できる団体、行政と各種団体の

間に立つスポーツの拠点となる機関があると良いという要望がありました。新規に機関を作る方法もありますが、既存の団体が担うこともできるので、検討しながら発信拠点となる機関を立ち上げていきたいと考えています。

7 報告事項

- (1) 後援等名義使用承認（後援）について
- 第 60 回滋賀県母親大会 【学校教育課】
 - 第 14 回湖北母親大会 【学校教育課】
 - 滋賀県民総スポーツの祭典 総合型地域スポーツクラブスポーツ交流会
2013 藹美祭 In MAIBARA 【生涯学習課】
- (2) 米原市子ども・子育て審議会について 【子育て支援課】
- (3) 米原市における保育のあり方に関する検討委員会について 【子育て支援課】
- (4) 平成 26 年度保育所・幼稚園入所申込み状況について 【子育て支援課】

委員：保育料の第 2 子以降無料化の影響は。

事務局：短時部・幼稚園から保育園への移行が見られました。就労を希望される保護者の方が増えています。

委員：学校評議員のグループ協議でも、幼稚園から保育園への移行が増えることについて意見が出ています。小さいお子さんを長時間預かることについて、将来に向けて何か気になることはありませんか。

事務局：保護者からのニーズには質の高い教育を長い時間提供して欲しいというのが本質にあります。認定こども園における短時部の教育を、長時部も含めて集団の中で保障して欲しいというニーズが高まっています。5 年前の認定こども園開園時には長時部の園児は 35 人、現在は 102 人です。このことから保護者が仕事を求めておられることと長時間の保育ニーズが高まっていることが分かります。

委員：親の子育てはどうなのか。子どもの幼児期からの子育ての考え方を議論していく必要がある。

事務局：長時間預かって欲しい、病気の時も預かって欲しいという意見があります。

委員：何でも抱え込んで、質の高い保育ができるのか。

事務局：国の施策・法律で動いているので、行政の立場ではサービスを如何に提供するかを考えざるを得ない。教育の本質を考えた時に、土台づくりの家庭教育や親の関わりが抜けてしまっている。親が子どもにどう関わって愛情を注ぐのか、心の豊かさを

育んでいくことが教育のベースになる。親の家庭教育の力をつける支援、施策が必要だと思います。

委員：低年齢児の保育の状況は。

事務局：3、4、5歳児は100%に近い充足率です。3歳児の就園率は100%近く、それを追って2歳児の就園が増加しています。特に0歳児の就園希望が後を絶ちません。受ける側としても、保育定数として園児3人に対し1人の保育士が必要なのでキャパがなく対応できません。0歳児に限っては今年度10月から待機児童が発生しています。0歳児の就園希望がどんどん増える傾向にあり、毎月10人以上の希望があります。慎重な入園調整を行っていますが、待機していただいている状況です。

(5) 平成25年度学校評議員全員研修会グループ協議のまとめについて 【学校教育課】

委員：グループ協議のグループ分けはどのようにされたのですか。

事務局：小学校・中学校はABC3つのグループに、幼稚園はDグループ1つとしています。

委員：かなり厳しい意見が出ている。保育士、教育現場の資質の低下を危惧しているとの意見もある。

事務局：学校訪問をした際にもありましたが、授業態度に問題のある生徒に構わずに教師が授業を進めている場面を評議員の方も御覧になったのだと思います。

委員：評議員の方の一番の悩みは情報がないため評価ができないことです。その問題をどうするかです。

委員：学校評議員の仕事をいただきましたが、半年経っても何も教えてもらえず、近所の子に電話して学校の状況を聞いていました。

事務局：新しい学校評議員の方向けの研修会を早い段階でやります。「教育のつどい」的なものを各学校区なり旧町地域単位で開催して、学校評議員の方や地域の方を招待することを検討しています。

(6) 平成25年度市教委学校訪問のまとめについて 【学校教育課】

(7) 米原市スポーツ顕彰候補者選考委員について 【生涯学習課】

(8) 米原市保幼小中学校統合整備計画について 【教育総務課】

8 質疑応答

なし

9 その他

10 閉 会

次回

第1回定例教育委員会 1月23日(木) 午後2時00分～
山東庁舎 3階 第2委員会室

以上をもって第12回定例教育委員会を午後5時48分に終了した。